

# Wind Hullo Topcoat F

ウインドハロートップコートF

「Wind Hullo Topcoat F」は日本で唯一航空機用塗料を製造している「日本特殊塗料」が風車のブレード用として開発した高性能機能性塗料です。航空機および軽合金構造体の外表面や航空機部品用として実績のある塗料の応用で「高撥水性」と「高耐候性」を実現しています。また、各種の遮熱塗料で実績のある日本特殊塗料のノウハウを生かし、太陽光による熱吸収性能を付与し、凍害地域のブレードへの着氷を防ぎます。

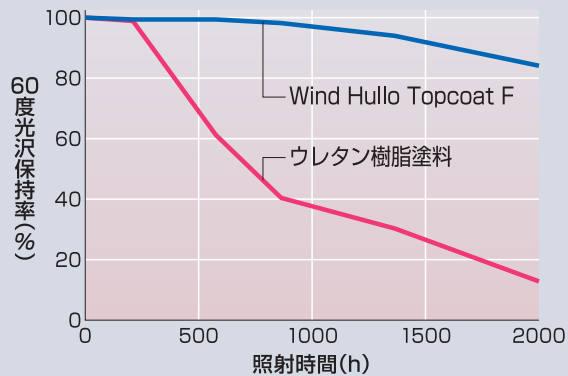
## 特長・効果

### 1 高耐候性、高耐久性

航空機塗料で実績のあるフッ素樹脂塗料ですので、抜群の高耐候性・高耐久性を実現します。

#### ●キセノンウェザーメーター促進耐候性試験

促進耐候性試験機による試験時間と60度光沢保持率の変化を示しました。

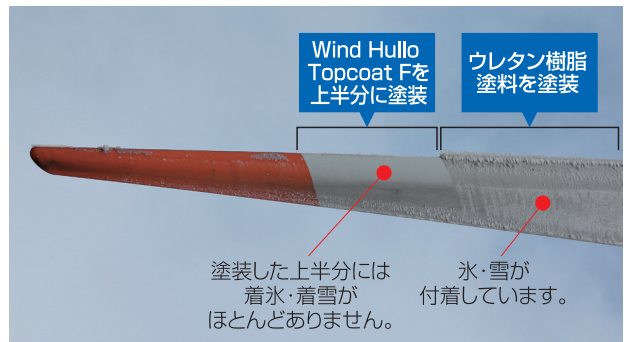


### 2 着雪防止機能

フッ素樹脂の特長である高撥水性と遮熱塗料のノウハウによる赤外線吸収機能により、凍害地域でのブレードへの着氷を防止します。

#### ●実機試験

ブレードの一部分にWind Hullo Topcoat Fを塗装することで冬季の着氷、着雪状況の効果を確認しています。



▲2012年2月撮影

## 荷姿 (1キット)

- Wind Hullo Topcoat F A液 ..... 4ℓ
- Wind Hullo Topcoat F B液 ..... 2ℓ
- 専用シンナー ..... 3ℓ

■エアゾールタイプ  
簡便に使用できる  
2液型スプレー  
タイプもあります。



## 標準色

- RAL7035 グレー (艶消し)
- RAL2009 オレンジ (艶消し)

※標準色以外も調色できます。  
※艶消しは60°鏡面光沢度が10以下の仕上げとなります。

日本特殊塗料は航空機用塗料で90年超の実績があります。航空機の機体の低温・高温の温度サイクルや強い紫外線、大気流接触による摩耗から機体を保護するとともに、その美観を維持します。これらの技術を応用し、屋根をはじめとした各種の遮熱塗料では業界屈指の塗料メーカーです。



▲日本特殊塗料の塗料で塗装された航空機

# 塗装工程

## ● 塗装工程(補修仕様)

| 塗装工程   | 塗料の調合  | 施工方法   | 可使時間           | 使用量                            | 施工間隔 |
|--------|--|--|----------------|--------------------------------|------|
| ① 素地調整 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●旧塗膜の浮き、剥がれなどがある場合は、サンダーなどで脆弱部を取り除いてください。</li> <li>●浮き、剥がれなどがない場合は、既存塗膜を#320～#400のサンドペーパーなどで研磨してください。</li> </ul>                    |  |                |                                |      |
| ② 洗浄脱脂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●被塗物表面の汚れ、油類をメチルエチルケトン、ラッカーシンナーなどで十分に洗浄、脱脂を行なってください(油類の残存は付着性の不良、ふくれの発生の一因になります)。</li> <li>●洗浄、脱脂を行なった被塗物には素手で触らないでください。</li> </ul> |  |                |                                |      |
| ③ 上塗り  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Wind Hullo Topcoat F A液……………2</li> <li>● // // B液……………1</li> <li>● // // シンナー……………1～1.5</li> </ul> 容量比                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● エアスプレー</li> <li>● ローラー塗装</li> <li>● 刷毛塗り</li> </ul> | 3～4時間<br>(23℃) | 0.20～0.22<br>kg/m <sup>2</sup> | —    |

## ● 塗装工程(工場塗装仕様)

| 塗装工程   | 塗料の調合  | 施工方法   | 可使時間           | 使用量                            | 施工間隔           |
|--------|--|--|----------------|--------------------------------|----------------|
| ① 素地調整 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基材表面の凹凸をなくすように、#320～#400のサンドペーパーなどで研磨してください。</li> </ul>   |  |                |                                |                |
| ② 洗浄脱脂 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被塗物表面の汚れ、油類をメチルエチルケトン、ラッカーシンナーなどで十分に洗浄、脱脂を行なってください(油類の残存は付着性の不良、ふくれの発生の一因になります)。</li> <li>● 洗浄、脱脂を行なった被塗物には素手で触らないでください。</li> </ul> |  |                |                                |                |
| ③ 上塗り① | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Wind Hullo Topcoat F A液……………2</li> <li>● // // B液……………1</li> <li>● // // シンナー……………1～1.5</li> </ul> 容量比                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>● エアスプレー</li> <li>● ローラー塗装</li> <li>● 刷毛塗り</li> </ul> | 3～4時間<br>(23℃) | 0.12～0.13<br>kg/m <sup>2</sup> | 2時間以上<br>(23℃) |
| ④ 上塗り② | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Wind Hullo Topcoat F A液……………2</li> <li>● // // B液……………1</li> <li>● // // シンナー……………1～1.5</li> </ul> 容量比                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>● エアスプレー</li> <li>● ローラー塗装</li> <li>● 刷毛塗り</li> </ul> | 3～4時間<br>(23℃) | 0.12～0.13<br>kg/m <sup>2</sup> | —              |

### ■ 塗装時の注意事項

- 厚塗りはワキなどの外観不良の原因となるため、膜厚管理を充分に行なってください。
- 塗料の希釈割合は塗料温度や施工条件、塗装方法によって異なります。事前に試し塗りを行なってください。
- 5℃以下、40℃以上、湿度85%RH以上での塗装、また、降雨や降雪、降霜が予測される場合は塗装を避けてください。
- スプレーミストを吸い込まないように必ず防護具を着用してください。
- 塗料は引火性液体です。火気のないことを確認してご使用ください。また、塗装の際はよく換気してください。
- 皮膚に付着した場合は石鹸水でよく洗い、痛みがある場合は医師の診断を受けてください。また、目に入ったときは大量の水で洗浄し、医師の診断を受けてください。
- 5℃以上、35℃以下の冷暗所に貯蔵し、雨などのかからない乾燥した場所に保管してください。
- B液を少量使用した場合は、すみやかにキャップをしてください。B液は湿気を嫌うため、一度開封したものはなるべく早く使用してください。
- 詳細は安全データシート(SDS)を参照ください。

\* 製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

● 製造元: **日本特殊塗料株式会社**

● 販売元: